

# 公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）

## 2023年度（令和5年度）第1回定時理事会 議事録

[1] 開催：2023年6月2日（水）13:00～17:35

- ・会議形式：実会議とインターネット・ウェブ会議（ZOOM）併用
- ・実施会場：Japan Sport Olympic Square 14F 岸清一メモリアルルーム（東京都新宿区）

[2] 出席（理事29名、監事2名）：

岩城光英、仲井公哉、飯島健二郎、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、和田知子、山根英紀、関根明子、森幸、石井なおみ、豊岡正康、園川峰紀、川添勝、島津寿江、村上幸生（以上、理事16名会議室出席）  
山倉紀子、鈴木貴里代（13時20分入室）、富川理充、上田藍（14時58分入室）、村瀬訓生、菊池日出子、齋藤れい（13時58分退席）、原晋、谷真海、高谷正哲、中山俊行、宮本悦子、大野徹雄（以上、理事13名オンライン出席）  
秋山智昭、荻原政吉（以上、監事2名会議室出席）  
土屋佳司、近藤邦宏（以上、ディレクター2名オンライン出席）  
坂田洋治、児玉健太、則俊直哉、島村直子、小池賢、内藤裕也、ベリーノ里紗、萩原舞（以上、事務局8名出席）

[3] 議事の経過

JTU定款第6章（理事会）第34条（決議）により、進行役の児玉事務局次長が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款第3条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を行った後、弔事対応を行い、同第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況として会長レポートを読み上げた後、仲井副会長、飯島副会長、大塚専務理事、中山常務理事、岸田常務理事、山倉常務理事、鈴木常務理事、和田常務理事から各業務報告が行われた。

その後、定款第35条（議事録）により、岩城会長、荻原監事を議事録署名人、大塚専務理事、園川理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名した。

第0号議案）前回議事録

2022年度（令和4年度）第4回定時理事会、および2023年度

第1回臨時理事会議事録について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1）2022年度（令和4年度）第4回定時理事会（2023年3月22日開催）議事録（案）
- ・承認事項2）2023年度（令和5年度）臨時理事会（第1回）（2023年5月17日開催）議事録（案）

第1号議案）2022年度 事業報告・決算報告・監査報告（案）

標題について、坂田マーケティング・事業局長、大塚専務理事及び秋山監事より説明があり、質疑応答の後に議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) 2022年度（令和4年度）事業報告（案）
- ・承認事項2) 2022年度（令和4年度）決算・監査報告（案）

第2号議案) 2023年度 第一次補正予算（案）

標題について、大塚専務理事より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2023年度 第一次補正予算（案）
  - ・説明骨子) 各種助成金申請状況による修正、定款第27条に基づき役員報酬総額の追記。今後助成金の追加交付が発生した場合、第二次補正収支予算案を理事会に提出する。

第3号議案) 2023年度 役員候補者選考関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長より1名の理事候補がまだ調整中である旨が補足され、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2023年度 JTU理事・監事 推薦候補者一覧

岩城光英、大塚眞一郎、山倉紀子、飯島健二郎、和田知子、鈴木貴里代、仲井公哉、岸田吉史、村瀬訓生、関根明子、富川理充、山根英紀、石井なおみ、菊池日出子、斎藤れい、森幸、高谷正哲、谷真海、土田和歌子、中山俊行、原晋、伊藤一博、上田藍、佐藤圭一、豊岡正康、大関辰郎、小田英男、川添勝、島津寿江、宮本悦子、北村格一、須山浩光、村上幸生、池淵功寛（以上、理事候補34名）  
秋山智昭、荻原政吉、齋藤栄太郎（以上、監事候補3名）

第4号議案) マーケティング・事業関連

標題について、坂田マーケティング・事業局長及び児玉事務局次長より説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、賛成多数で承認可決した。なお、承認事項5) について、方針について異なる意見があるとの理由から中山俊行理事の棄権表明があった。

- ・承認事項1) ワールドトライアスロンエイジグループ選手権 出場基準（案）
- ・承認事項2) ワールドトライアスロンマルチスポーツ選手権 出場基準（案）
- ・承認事項3) ロングディスタンストライアスロンナショナルチャンピオンシップ（2023/佐渡）出場基準（更新）
- ・承認事項4) 国民スポーツ大会 施設基準（案）
- ・承認事項5) JTUトライアスロン・ファンデーション

タレント発掘・育成事業（案）・説明骨子) 中学生・小学生年代は、長期的な視点で選手の育成を行う必要があり、マルチにスポーツを楽しむ環境を提供するとともに、健全な競争環境の構築していく必要がある。本年代の基本方針を定め、保護者や指導者への周知、地域で

の普及イベントの活性化、ロードバイク・自転車の安全管理向上に関する機会を推進する。  
小学生・中学生年代の全国大会のあり方についても定義を行う。

- ・基本方針1) FETMフレームワーク「競技別パスウェイモデル」の推進  
競技別パスウェイモデルに基づき、U15年代の競技経験の機会を推進するためにキャンプ・大会・クリニックなどの事業を実施していく。
- ・基本方針2) U15/ファンデーション年代の大会での表彰の順位づけの方針  
U15年代の大会での順位付けは実施する。但し、順位のみでの表彰式ではなく、多くの参加選手を讃える機会をつくる。

#### 第5号議案) ハイパフォーマンスチーム関連

標題について、児玉次長より説明があり、質疑応答などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) ワールド/アジアトライアスロン公式大会JTU出場推薦基準（更新案）
- ・承認事項2) JTUトライアスロンHPT・リージョナル育成事業（2023年度）（更新案）
- ・承認事項3) JTUパラトライアスロンナショナルチーム制度関連（案）

#### 第6号議案) 資格関係

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) JTU公式大会技術代表（TD）・審判長（HR）
  - ウルトラロングディスタンス・ナショナルチャンピオンシップ（2023/五島長崎）6月18日  
技術代表：古川八寿男（長崎）、審判長：内海由加里（長崎）
  - 日本スプリントトライアスロン選手権（2023/仙台）7月2日  
技術代表：木幡 智彦（宮城）、男子審判長：鳥羽祐二（宮城）、女子審判長：永塚美紀（宮城）
  - 日本U23スプリント選手権・日本U19選手権（2023/長良川）7月23日  
技術代表：深井孝道（愛知）、審判長：瀬川寛（愛知）
  - トライアスロンロングディスタンス・ナショナルチャンピオンシップ（2023/佐渡）9月3日  
技術代表：真嶋利寿（新潟）、審判長：秋場和久（新潟）
  - 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」トライアスロン競技大会 10月8日  
技術代表：竹下勝博（鹿児島）、審判長：浅野喜美子（鹿児島）
  - 日本エイジグループナショナルチャンピオンシップ/シリーズファイナル（2023/宮崎）10月29日  
技術代表：甲斐義朗（宮崎）、審判長：園田美沙（宮崎）
- ・承認事項2) JSP0公認スポーツドクター養成講習会 候補者推薦
  - ・基礎科目からの受講：草野謙（福岡）、原科純一（東京）
  - ・応用科目からの受講：高岡沙知（長崎）

- ・承認事項3) JPC公認障がい者スポーツトレーナー養成講習会 候補者推薦  
推薦候補：矢島実 (JTUトータルサポート委員会副委員長／千葉)

#### 第7号議案) 国際関係

標題について、大塚専務理事より説明があり、質疑応答などないことが確認され、利益相反に該当する出席者が退席した後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) アジアトライアスロン役員推薦 (案)

高谷正哲 (事務総長) / 鈴木貴里代 (技術委員) / 小田智子 (女子委員) / 児玉健太 (監査委員) / 富川理充 (パラトライアスロン委員) / 関根明子 (情報委員) / 坂田洋治 (プロモーション委員) / 笠次良爾 (メディカル委員) / 細田雄一 (コーチ委員) / 木村潤平 (アスリート委員)

#### 第8号議案) 倫理委員会関係

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に、利益相反に該当する理事が退出後、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 倫理コンプライアンス規程違反 (第7条) に基づく選手1名と担当コーチ1名の処分案件。「2023海外大会帰国選手とコーチ案件」

・事象概要：海外遠征から帰国した選手が、定性抗原検査で陽性判定となった。担当コーチに相談の結果、公共交通機関での移動を選択したが国の感染症対応方針に反していた。事情聴取の結果を受けたJTU倫理委員会での審議の結果、JTU倫理コンプライアンス規程第7条「一般社会人としての社会規範に関する事項」により、「注意、教育的指導 (会長名による注意及び、改善計画書の提出)」とした。

#### [5] 報告/ディスカッション事項

##### 1) 危機管理案件

現状の危機管理案件について報告がなされた。

- ・継続中の裁判に関する案件
- ・海外交通事故案件
- ・宮古島大会/館山大会での (スイム) 事故案件

##### 2) 関連団体推薦関連情報

- ・日本スポーツ協会 (JSP0) 理事就任/山倉紀子JTU常務理事 (継続)
- ・日本水泳連盟 理事就任/菊池日出子JTU理事 (新規)
- ・JOC国際人養成アカデミースクールマスター就任/大塚眞一郎JTU専務理事 (継続)

##### 3) ガバナンスコード

・2019年に策定されたスポーツ団体ガバナンスコードによる適合性審査が一巡し、スポーツ庁で評価検証が行われている旨の報告があった。

##### 4) 中長期計画・ブロック連携

- ・会員登録の現システムの改修を検討。

##### 5) 大会/事業関連報告

- ・韓国トライアスロンからの日韓親善大会の提案

- ・各大会、事業への役員派遣への協力依頼

6) ブロック報告等

- ・北海道：法人化6月設立見込みの報告
- ・関東：2025パラ国際大会招致に向けての千葉シティ大会の進捗、関東BのエイジNCS状況
- ・東京：海の森大会の準備状況、ほか
- ・北信越：エイジNCS参画大会の準備状況、珠洲のコース地震被害による大会開催可否検討中の情報共有

・近畿：大阪城大会、付帯事業の実施報告、兵庫、和歌山、奈良の法人化準備ほか。宮古島大会スイムでの死亡選手（和歌山県協会所属）葬儀の報告。

- ・中国：かごしま国体輸送関連の質問（同じ離島開催となる島根国スポを見据えて）
- ・九州：佐賀国体、リハ大会に向けた準備状況、T0人数、移動関連など。
- ・東海：蒲郡大会、アイアンマン大会の準備状況報告

7) 6月30日 社員総会スケジュールと出席者確認

[6] WEB会議関連の特記事項

審議進行に関わる確認）議長に代わり事務方が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや、発言できなかったことなどがなかったかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

[7] 次回理事会：2023年6月30日（金）2023年度JTU臨時理事会（第2回）

[8] 閉会挨拶

飯島副会長の閉会あいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ17時35分に閉会した。